

## みどりの女神が来訪 木の文化を将来に伝える

「ミス日本みどりの女神記念植樹」は4月15日、市教育資料館敷地内で開かれ、県緑化推進委員会(森塚男理事長)から市に寄贈されたしだれ桜の苗木を7代目みどりの女神の小林優希さん、佐藤久一郎県緑化推進委員会副理事長、熊谷市長が植樹しました。

ミス日本みどりの女神は、みどりや木の現代的な価値を広く社会に発信する役割を担います。小林さんは「登米市に来て木のぬくもりを身近で感じる事が出来ました。活動を通して林業を若い人たちにも知ってもらい、多くの世代にみどりと木への親しみを広めたい」と意気込みを話しました。



記念植樹に先立ち、「おかえりモネ」で森の町として登場する登米にちなんで、木製の棚が小林さんから市に寄贈されました。

## 各分野の発展目指す 事業協力員へ辞令を交付

「登米市地域おこし協力隊並びに地域林政アドバイザー辞令交付式」は4月1日、登米市役所庁舎で行われ、令和3年度の協力隊員として4人が、地域林政アドバイザーとして1人が委嘱されました。

地域おこし協力隊は、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PRなどの支援、農林業への従事、住民の生活支援などの地域おこしを、地域林政アドバイザーは、森林所有者や林業経営者と調整しながら円滑な林業運営を進めます。阿部孝弘地域林政アドバイザーは、「登米市なりの林業の位置づけを目指したい。担い手不足にもしっかりと取り組む」と抱負を語りました。



今年度新たに創設された地域林政アドバイザー。市の4割を占める森林の効果的な活用を目指します。

## 決意胸に新たな一歩 小田原短大登米スクール

「小田原短期大学登米スクール入学式」は4月25日、スクーリング会場となる飛鳥未来きずな高校で行われ、新入生11人が学生生活をスタートさせました。

通信教育課程の同スクールは、保育士資格や幼稚園教諭免許の取得が可能。式典で吉田眞理学長は「保育者の仕事は、未来の希望を育てる仕事です。教員や友人、家族を頼ることを忘れずに希望に向かって進んでほしい」と激励しました。一條美樹さん(28)は「夢の実現のため、知識や技術を精いっぱい学び、社会に貢献できる力を身に付けていきたい」と宣誓。新入生らは、夢に向かって第一歩を踏み出しました。



新しい学生生活への期待と喜びでいっぱいの気持ちを胸に、日々向上心を持って目標に向かうことを宣誓した一條さん。

## 交通事故ゼロ願って 春の交通安全車両出動式

「春の交通安全県民総ぐるみ運動に伴う車両出動式」(登米警察署、佐沼警察署共催)は4月5日、登米総合体育館で開かれ、登米、佐沼両警察署員や交通安全関係団体ら約40人が参加しました。

市では3月24日に交通死亡事故ゼロ6カ月を達成。熊谷康登米警察署長は「高齢者が犠牲になる事故が後を絶たない。子どもと高齢者の安全確保、自転車の安全利用の推進、飲酒運転の根絶、交差点での交通事故防止に重点を置き、スローガン『みんなで登米っぺ交通事故』の実現に向け、皆さんにもご協力をお願いしたい」と交通安全を呼び掛けました。



交通事故による犠牲者を出さないよう決意を胸に、市内各地へ向けて、白バイやパトカーが出動しました。

## 市をモネ色に染める 関連イベントをスタート

5月17日から放送が始まったNHKの連続テレビ小説「おかえりモネ」のPRグッズが市内各所で販売されています。

市では、10日から始まったクールビズ期間に合わせ、職員が番組公式ポロシャツを着用。胸元に番組公式ロゴをプリントしたデザインになっています。また、放送開始日の17日からは「おかえりモネ展」が教育資料館で開催。出演者等身大パネルやサイン色紙、衣装、小道具など多くの関連品が展示されています。入場は無料で、放送終了までの期間展示開催していますので、ぜひご来場ください。



市では、5月17日に放送をスタートした「おかえりモネ」に関連して、さまざまな取り組みを予定しています。

## 地域の安全守る拠点 完成した新庁舎お披露目

「佐沼警察署米山駐在所開所式」は4月7日、同敷地内で行われ、地区関係組織の代表者や工事の施工に携わった事業者など約20人が参加しました。

同駐在所は、1905年に米山村西野地区に開設された西野巡査駐在所が前身。83年に現在の所在地に設置され、地域に密着した駐在所として38年間住民の安全と安心のよりどころとしての役割を担ってきました。菅原彰所長は「駐在所は地域の安全安心を守る拠点。今日から新庁舎での業務を開始しており、これからも住民から親しまれるような駐在所にしていきたい」と力強く話しました。



建設された庁舎は木造平屋建てで、居住スペースと駐車場を併設。警察官1人が常駐します。